

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123222088	ビジュアルプレゼンテーション演習	村田 仁			1	必修	2後期
<b>科目の概要</b>							
短時間で多くの人に訴える力を持つ映像と、それを駆使したプレゼンテーションの文法を学び、実作を通して情報発信のためのデザイン、コンテンツの伝わり方を学ぶ。ディプロマ・ポリシー③の「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる。」に繋げる。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① ビジュアルプレゼンテーションを企画段階から実作する。 ② 各プレゼンのテーマについてリサーチに基づいた自身の意見をまとめる。 ③ 他の受講生のプレゼンテーションを聴講し、意見を交わす。				① ビジュアルプレゼンテーションを行う。 ② 各プレゼンのテーマを理解し、自分の意見をプレゼンテーションとして作成し発表することができる。 ③ 他の受講生のプレゼンテーションを聴講し、建築的な意見を交わすことができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	プレゼンテーションのアプリケーションを操作する。					
	働きかけ力						
	実行力						
考え抜く力	課題発見力	同じ情報でも、プレゼンテーション次第で伝わり方が変わることを発見する。					
	計画力						
	創造力						
チームで働く力	発信力						
	傾聴力						
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席せず、授業が円滑に進行できるようルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
適宜、授業内で紹介します。TED など、インターネットで受講できるものも紹介します。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「Webデザイン」「Webデザイン応用演習」「Webデザイン基礎演習」							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
演習を積み重ねていく授業ですので、授業を休まれた場合は当該の内容を確認するようにしてください。				不明点を互いに投げ出さないよう、各回、理解度を確認するアンケートを行います。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	小テスト	0	①					
			②					
			③					
	レポート	0	①					
			②					
③								
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			企画書段階から自ら作成したビジュアルプレゼンテーション制作を、授業期間を通して行う。 授業内で提示される3つのプレゼン課題を全て提出すること。 pisa型学力 獲得・プレゼンの作成、編集の方法を会得する。10% 活用・プレゼンの作成、応用する。20% 解決・プレゼンを発表、提出する。70% 合計 100%。	
			②	✓				
			③	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） アプリケーションの扱いについて、繰り返す学習を行った。 （実行力） 不明点を確認しながら学習する姿勢を持つことができた。 （課題発見力） 自分の学修上の問題点の解決策を考えた。 （創造力） 授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができた。 （発信力） 話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意した。 （傾聴力） 質問された場合は、何を聞かれているか理解することができる。 （規律性） 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守る ことができる。	
			②					
			③					
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S: 社会に訴求できるビジュアル性を持ち、効果的なプレゼンテーションを理解し行うことができる。A: 企画段階からビジュアルプレゼンテーションを作成し、完成する。	B: ビジュアルプレゼンテーションの構造を理解し、解説できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス 授業全体の紹介。3つのプレゼンを紹介する。 ビジュアルプレゼンテーションとは何か。	講義	授業15回分の予定を説明できる。	予習、シラバスを読む。 復習、配布物を読む。	90	主体性 傾聴力
2	プレゼン①「時事問題をプレゼンする」作成 プレゼン内容を視覚化するためのワークショップ。	講義 演習	ビジュアルプレゼンテーションの脚本を理解できる。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、配布物を読む。	90	主体性 計画力 傾聴力
3	プレゼン①「時事問題をプレゼンする」作成	講義 演習	GoogleSloide を操作し、理解できる。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、GoogleSloideでスライドを講師と共有する。	90	主体性 計画力 傾聴力
4	プレゼン①「時事問題をプレゼンする」作成	講義 演習	GoogleSlide を操作し、理解できる。	予習、GoogleSlide を編集しておく 復習、GoogleSlide でスライドを講師と共有する。	90	主体性 計画力 傾聴力
5	プレゼン①「時事問題をプレゼンする」発表	講義 演習	プレゼンを聴講し、コメントを提出する	予習、GoogleSlide を編集しておく 復習、配布物を読む。	90	主体性 傾聴力
6	プレゼン②「辞書に載っていない新しい言葉をプレゼンする」作成	講義 演習	プレゼン企画をつくる。	予習、企画書をGoogle Document で共有する。 復習、配布物を読む。	90	主体性 傾聴力
7	プレゼン②「辞書に載っていない新しい言葉をプレゼンする」作成 著作権について	講義	著作権について理解する。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、配布物を読む。	90	主体性 傾聴力
8	プレゼン②「辞書に載っていない新しい言葉をプレゼンする」作成 ブラッシュアップ	講義 演習	編集と素材集めを行う。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、素材集めを授業外でも行う。	90	主体性 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	プレゼン②「辞書に載っていない新しい言葉をプレゼンする」発表	講義 演習	プレゼンを聴講し、コメントを提出する	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、配布物を読む。	90	主体性 実行力 傾聴力
10	プレゼン③「大学生活におけるテーマ」作成	講義 演習	編集を行う。ラフ段階まで進める。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、配布物を読む。	90	主体性 実行力 計画力 傾聴力
11	プレゼン③「大学生活におけるテーマ」作成	講義 演習	編集を行う。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、編集を行う。	90	主体性 実行力 傾聴力
12	プレゼン③「大学生活におけるテーマ」作成	講義 演習	プレゼンテーションのリハーサルを行う。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、配布物を読む。	90	主体性 実行力 傾聴力
13	プレゼン③「大学生活におけるテーマ」作成	講義 演習	プレゼンテーションのリハーサルを行う。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、配布物「プレゼンの速度」を読む。	90	主体性 実行力 傾聴力
14	プレゼン資料のアーカイブ	講義	資料をまとめる。バックアップを行う。	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、成果物を見直す。バックアップを行う。	90	主体性 実行力 傾聴力
15	プレゼン③「大学生活におけるテーマ」発表	講義 演習	プレゼンを聴講し、コメントを提出する	予習、Classroomでの配布資料を読む。 復習、成果物を見直す。バックアップを行う。	90	主体性 実行力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力